

## 平成28年熊本県内外国人留学生の生活状況アンケート調査

**概要**： 留學生が抱える共通の問題点を把握し、留學生支援事業の改善及び充実を図るための基礎資料とするために、留學生の生活に関するアンケート調査を実施した。今年度は、4月に発生した熊本地震とその後の生活の変化についても調査した。また、留學生の日本での就業意識や就職活動などの活動状況についても調査した。

**対象**： 大学コンソーシアム熊本加盟高等教育機関に在籍する外国人留學生

**回答期間**： 平成28年12月15日～平成29年1月20日

**回答方法**： オンラインまたは紙媒体

**回答数**： 389(回収率56.7%)※平成28年5月現在の留學生数685名

### <アンケート集計結果>

**出身国**： 中国(141)36%、インドネシア(38)10%、ベトナム(29)7%、バングラデシュ(27)7%、台湾(23)6%、ミャンマー(16)4%、マレーシア(12)3%、韓国(9)2%、ほか29カ国

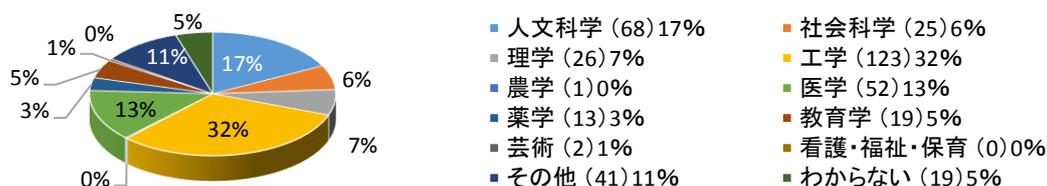
**大学名**： 熊本学園大学(25)6%、熊本県立大学(5)1%、熊本高等専門学校(11)3%、熊本大学(278)71%、尚綱大学・尚綱大学短期大学部(2)1%、崇城大学(45)12%、東海大学九州キャンパス(3)1%、中九州短期大学(8)2%、無回答(12)3%

**男女別**： 男性(194)50%、女性(193)50%、わからない(2)0%

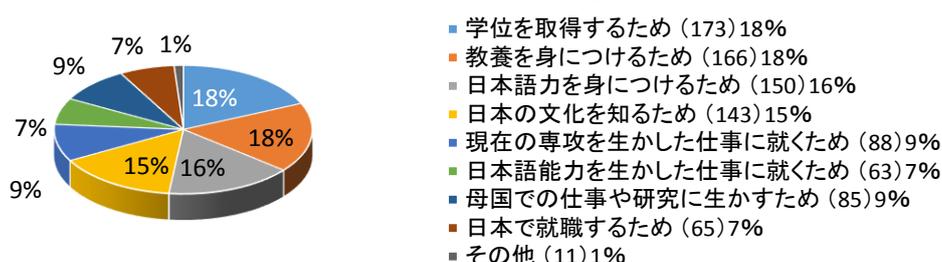
**年齢別**： 20歳未満(17)5%、20～24歳(144)37%、25～29歳(117)30%、30～34歳(83)21%、35～39歳(17)4%、40歳以上(10)3%、わからない(1)0%

**所属別**： 学部(75)19%、修士／博士前期課程(77)20%、博士／博士後期課程(117)30%、交換留學生(60)15%、研究生・科目等履修生(23)6%、その他(37)10%

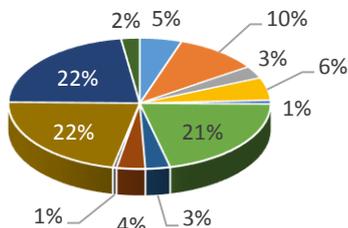
Q6. あなたの主な専攻分野はどれですか？



Q7. あなたが日本に留学した目的はなんですか？(3つまで回答可)

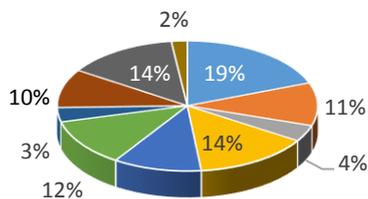


Q8. 日本で留学する前にどのような方法で留学情報を手に入れましたか？  
(3つまで回答可)



- 日本留学フェア/教育展に参加 (34)5%
- 入学を希望する大学に直接聞いた (68)10%
- 在外日本大使館などの在外公館に聞いた (20)3%
- 母国の政府教育機関に聞いた (37)6%
- 日本学生支援機構(JASSO)に聞いた (6)1%
- インターネットで学校のウェブサイトを検索 (138)21%
- 大学コンソーシアム熊本のウェブサイトを検索 (20)3%
- その他民間団体に聞いた (23)4%
- 日本の出版物を購入した (3)1%
- 母国の学校や教員に相談した (144)22%
- 親戚や友人に相談した (147)22%
- その他 (15)2%

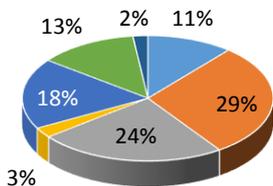
Q9. 熊本の大学を留学先に選んだ理由は何ですか？ (3つまで回答可)



- 研究に適した指導教官がいたから (146)19%
- 母国の指導教官にすすめられたから (81)11%
- 文部科学省や母国政府から指定されたから (31)4%
- 自分の専攻分野が合致したから (108)14%
- 大学間交流協定があったから (83)11%
- 奨学金を得られたから (89)12%
- 地理的に近いから (27)3%
- 友人や知人がいるから (73)10%
- 生活しやすい環境だから (105)14%
- その他 (15)2%

Q10. あなたは今年4月の地震を経験しましたか？  
はい(227)58%、いいえ(139)36%、わからない(23)6%

Q11. 地震のとき、どこに避難しましたか？ (3つまで回答可)



- 家または寮にとどまった (46)11%
- 大学内に避難した (122)29%
- 地域の避難所に避難した (100)24%
- 知人宅に避難した(県内) (11)3%
- 県外に避難した (76)18%
- 母国に一時帰国した (53)13%
- その他 (8)2%

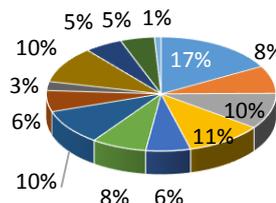
Q12. 地震のとき、情報はどこから得ていましたか？ (3つまで回答可)

母国大使館 (26)5%、避難所 (85)15%、熊本県や熊本市などの自治体 (12)2%、熊本市国際交流会館 (28)5%、大学の職員や先生 (89)16%、大学コンソーシアム熊本 (8)1%、テレビ (40)7%、ラジオ (7)1%、新聞 (29)5%、SNS(Facebook など) (64)12%、日本人の友人・知人 (69)13%、留学生の友人・知人 (81)15%、その他 (15)3%

Q13. 地震のとき、役に立った連絡手段は何ですか？ (3つまで回答可)

電話 (166)29%、Email (95)17%、LINE (119)21%、Facebook (107)19%、Twitter (7)1%、Cacao (4)1%、WeChat (58)10%、その他 (14)2%

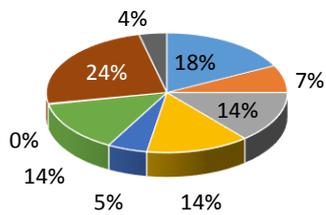
Q14. 地震後、特に困ったことは何ですか？ (複数回答可)



- 断水 (127)17%
- ガスが使えない (76)10%
- トイレ (47)6%
- 食料が足りない (75)10%
- 家族の世話 (19)3%
- 家や寮に住めなくなった (40)5%
- その他 (7)1%
- 停電 (59)8%
- 入浴 (81)11%
- 飲料水が足りない (58)8%
- 日用品が足りない (45)6%
- 学業が手につかない (78)10%
- 特になし (36)5%

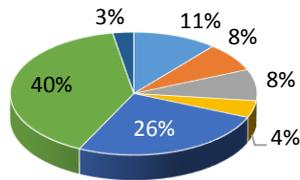
Q15. 地震が起こる前に、備えておいて良かったことはありますか？

(複数回答可)



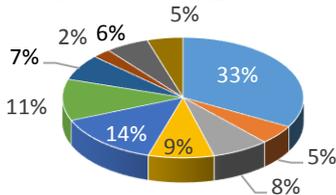
- 地震に関する知識があった (66) 18%
- 家具の転倒防止対策をしていた (28) 7%
- 防災リュック(避難用物品)を準備していた (52) 14%
- 食料や水を備蓄していた (52) 14%
- レジャーシートや毛布を準備していた (20) 5%
- ラジオや携帯電話などを充電する器具を持っていた (52) 14%
- カセットコンロなどの調理器具を持っていた (1) 0%
- 何も準備していなかった (91) 24%
- その他 (14) 4%

Q16. 地震後、生活環境の変化はありましたか？(複数回答可)



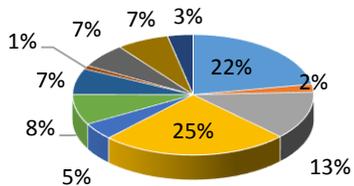
- 住居が変わった (32) 11%
- 研究環境が変わった (22) 8%
- アルバイトがなくなった (24) 8%
- 就職活動に影響があった (13) 4%
- 心が不安になった (75) 26%
- 特になし (116) 40%
- その他 (8) 3%

Q17. あなたが将来やりたい職種はどれですか？



- 研究者・大学教員 (199) 33%
- 行政機関職員 (31) 5%
- 経営・マーケティング (53) 9%
- 翻訳・通訳 (67) 11%
- 販売サービス (15) 2%
- その他 (29) 5%
- IT系 (35) 6%
- 貿易・金融機関 (42) 7%
- 観光ビジネス系 (46) 8%
- 技術開発 (85) 14%

Q18. 卒業後の予定または進路を教えてください。



- 日本で就職 (136) 22%
- 日本で進学 (79) 13%
- 母国で就職 (154) 25%
- 母国で進学 (50) 8%
- 第三国で就職 (43) 7%
- 第三国で進学 (40) 7%
- 第三国で創業 (6) 1%
- 日本で創業 (13) 2%
- 母国で創業 (28) 5%
- 第三国で創業 (6) 1%
- まだ決めていない (43) 7%
- その他 (21) 3%

Q19. あなたの日本語能力はどの程度ですか？

日本語能力試験 N1 より上 (29) 7%、日本語能力試験 N1 程度 (76) 20%、  
日本語能力試験 N2 程度 (67) 17%、日本語能力試験 N3 程度 (52) 13%、  
日本語能力試験 N4 程度 (41) 11%、日本語能力試験 N4 未満 (100) 26%、わからない (24) 6%

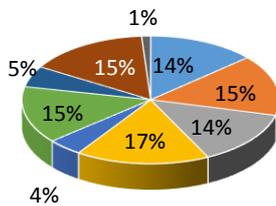
Q20. あなたは将来、日本で就職したいですか？

はい (210) 54%、いいえ (158) 41%、わからない (21) 5%

Q21. (Q20 でいいえと答えた方へ) 日本で就職しない理由は何ですか？

母国で大学・企業に所属しているから (27) 13%、母国・他国で研究を続けたいから (38) 19%、  
日本の生活環境や文化が合わないから (20) 10%、日本で就職先が見つからないから (14) 7%、  
日本企業の働き方や制度と合わないから (23) 11%、帰国しなければならない理由があるから (68) 33%、  
その他 (15) 7%

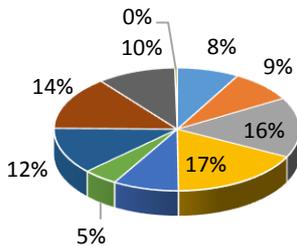
Q22. 日本で働きたい理由は何ですか？(3つまで回答可)



- 日本語を使って仕事したい (71)14%
- 日本企業の海外拠点で働きたい (81)15%
- 日本企業の技術力が高い (72)14%
- 日本企業の給与が高い (88)17%
- 終身雇用制がある (23)4%
- 衣食住の環境が良い (76)15%
- 母国で就職するのが難しい (28)5%
- 日本の文化が好きだから (80)15%
- その他 (6)1%

Q23. 日本で就職を決める際に、どんな会社を選びたいですか？

(3つまで回答可)



- 企業の知名度が高い・ブランドイメージが良い (52)8%
- 会社規模が大きく安定している (54)9%
- 優れた技術・ノウハウを身につけることができる (101)16%
- やりたい仕事ができる・大学で学んだことを活かすことができる (111)17%
- 語学力を活かすことができる (55)9%
- 実力主義・成果主義 (29)5%
- 給料が高い (78)12%
- 福利厚生が充実している (90)14%
- 外国人採用の実績がある (66)10%
- その他 (2)0%

Q24. あなたは熊本で就職したいと考えていますか？

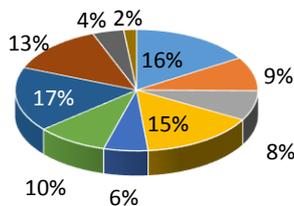
はい (112)49%、いいえ (41)18%、わからない (77)33%

Q25. 大学の就職課は利用していますか？

よく利用している (10)5%、たまに利用している (19)8%、あまり利用していない (85)37%、全く利用していない (114)50%

Q26. 日本での就職活動の時に困ったこと、困っていることは何ですか？

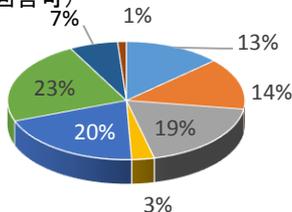
(3つまで回答可)



- 日本の就職活動の仕組みが分からない (85)16%
- 業界研究や企業研究の仕方が分からない (48)9%
- 企業がどのような人材を求めているのか分からない (42)8%
- 日本語での書類の書き方が分からない (81)15%
- SPIや適性試験が難しい (31)6%
- 日本語での面接が難しい (50)10%
- 外国人留学生向けの求人が少ない (91)17%
- 企業が求める日本語能力のレベルが高い (69)13%
- 特にない (22)4%
- その他 (9)2%

Q27. 日本での就職活動に関する情報収集において、役に立った情報源は何ですか？

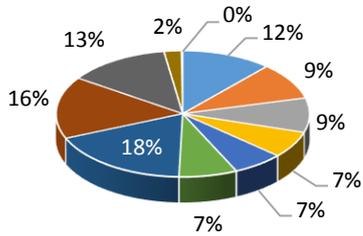
(3つまで回答可)



- リクナビやマイナビなどの就活サイト (56)13%
- 個別企業のホームページ (60)14%
- 大学の就職課 (80)19%
- ハローワークや公的機関 (13)3%
- 大学の友人や先輩などの個人ネットワーク (85)20%
- 大学の先生 (97)23%
- 特にない (28)7%

Q28. 留学生の就職を支援するために実施している取り組みで、役に立っているものは何ですか？また、あれば良かったと思うものは何ですか？

(3つまで回答可)



- ビジネス日本語研修 (73) 12%
- 日本の企業文化や価値観に関する研修 (60) 9%
- ビジネスマナー (56) 9%
- 日本の礼儀作法に関する研修 (43) 7%
- 企業とのマッチング (41) 7%
- 企業などへのインターンシップ (47) 7%
- 留学生の受入を希望する企業の情報 (115) 18%
- 留学生向けの就職活動に関するセミナー (101) 16%
- 留学生向けの個別就職カウンセリング (83) 13%
- 特にない (14) 2%
- その他 (1) 0%